

SANYO Report 2020 vol.07

山陽といえばクラブ活動！その②

世界で活躍する和太鼓部・県内でも珍しいヨット部など魅力あふれる山陽のクラブ

06号に続き、今回も山陽高校クラブ特集号です。山陽高校には高校から新たにチャレンジできるクラブ活動がたくさんあります。ホッケー部や自転車競技部、アーチェリー部やボクシング部など、高校から始めて全国チャンピオンや全国大会準優勝となった先輩たちもいます。また、文化系クラブでは和太鼓部が世界を舞台に活躍。高校生になって初めて太鼓を始めた生徒たちがめきめきと上達していきます。そのような山陽高校のクラブの魅力をお伝えします。

伝統と栄光のホッケー部に女子部始動！

幾度もの全国大会優勝、オリンピック日本代表選手の輩出など、まさに山陽高校の伝統クラブとなるのがホッケー部。元日本代表キーパー百崎充洋監督が指導に当たります。さらに2020年、待望の女子部がスタート。今後は男女そろっての全国大会出場を狙います。

自転車・バレーボール・剣道なども活躍

宮谷将大監督のもと近年実績を伸ばしているのが男子バレーボール部。広島県上位を伺います。また、2020年より待望の女子部がスタート、活躍が期待されます。

さらに高校からスタートできるクラブも盛りたくさん。自転車競技部は2018年、全国準優勝の快挙。OBに世界チャンピオンを輩出しているボクシング部、中国大会出場を果たしたテニス部・卓球部・剣道部・空手道部・アーチェリー部など活躍が続きます。また、高校から始めるクラブ



活動で人気急上昇なのが弓道部。この春12名の新入部員を迎えました。また、海に近い高校ということもありヨット部があるのも特徴的です。

日本代表として世界で公演、和太鼓部



文化系クラブでは和太鼓部が幅広く活動。地元のお祭りや小学校・中学校でのPTC活動など年間50回近くの公演を行っています。さらにフランス・スペイン・ポルトガル・スロベニア・台湾など世界の民俗音楽祭に日本代表チームとして招待されるなど活躍の場を世界に広げています。

ユニークな活動を繰り広げる文化クラブ

文化系も活発に活動しているのが山陽高校。国際書展入賞の書道部や全国大会出場の囲碁将棋部、野球部の応援など幅広く活躍する吹奏楽部、部員数40名を超える人気クラブ軽音楽部など、充実した活動を繰り広げています。また、実業系の学科があることから、専門性を生かした商業クラブ・工業クラブも活躍。工業クラブはマイコンカーラリー中国大会出場を果たしています。さらに朝の一分間黙想の今日の一言を担当する放送部や、校内に生け花を飾りみんなの目を楽しませてくれる華茶道部も積極的に活動しています。

山陽高校の先輩から リレーボイス！

中学校のころはしたいことも、目指すものも何もありませんでした。たまたま来た山陽高校のオープンキャンパスで、和太鼓部の演奏に心奪われました。会場に響き渡る大きな音、負けないほど鋭い掛け声…。とてもかっこよく見え、自分もあなりたいと初めて憧れ、そして山陽高校に入学し和太鼓部に入りました。和太鼓部の練習は僕にとってとても厳しいものでした。正しい姿勢を維持しての打ち込み練習は、翌日腕が上がらなくなるほどきついものでしたが、先輩たちは優しく、わからないところがあればつきっきりで教えてくれました。もっと上手になりたいくて仲間と残って練習したこともあります。高校二年生の夏にポルトガル公演に行くことができました。夜中まで演奏したのは初めてで、和太鼓への反応や街の様子など日本にはない雰囲気を感じられました。和太鼓部は新しいことの連続です。様々な「初めて」に出会うたびに、新しい自分に出会えます。熱中できる何かを見つけたい人、憧れた姿になりたい人、ここで一緒に始めませんか？

工学科3年 釜田祐輝くん（広島市立国泰寺中学校出身）



中学校の頃、オープンキャンパスに参加して和太鼓部の演奏を見たときにとてもかっこよく、自分もやってみたいと思ったのが和太鼓部に入部するきっかけです。中学校の頃は卓球部に所属しており、中学校の時より練習する時間が増えて、これから練習についていけるか心配でした。ですが、先生や先輩たちから改善すべき点を丁寧に教えてもらったことで徐々に技術を身につけることができるようになり、演奏にも出演できるようになってとてもうれしかったです。二年生の夏にはポルトガルに行き演奏を行うことができました。お客様の反応もよく、とても貴重な体験をすることができました。このことを通じて、練習をがんばってきて本当に良かったと改めて思いました。僕は引退まで残りわずかですが、和太鼓部で培ってきた経験をこれからの大学生活や社会で生かしていけるよう、最後まで和太鼓部で頑張っていきます。

普通科3年特進コース 中島律輝くん（愛知県あま市立美和中学校出身）

中学校の時は野球部に所属していました。高校に入ったとき、小学校時代にBMXをやっていたので、それを活かせるのではないかと思います。高校では自転車競技部に入りました。自転車競技部の雰囲気は学年の垣根はあまりなく、みんなで話し合いながらしっかり練習ができていると思います。高校に入ってから自転車を始める人がほとんどなので、初心者の人でも練習次第で全国大会出場が可能です。山陽高校自転車競技部と一緒に練習して全国を目指しましょう！

工学科2年 森本直樹 くん（廿日市市立阿品台中学校出身）

